

聖珠伝説パールシード・2レベルシナリオ『ハーピーの雫』

◆はじめに

このシナリオはサークル〈オニオン・ワークス〉様のパールシード20周年記念同人誌『女神の流した涙』の追加データを用いたシナリオとなっていますが、無い場合でも遊べるようになっております。

■1. 導入

前回の冒険を無事に終え再び旅に出たPC達があと一山で街へたどり着く途中の事です。PC達の上を何やら鳥のような影が飛び去っていきました。その足には人ぐらいの大きさの獲物が捕らえていたようでしたが、ほんの一瞬のことですぐに見失ってしまいました。街道筋の街ネハーレンはこの辺りでは大きな街で、PC達のような冒険者にとっても仕事や冒険のネタを探しやすい環境にあると言えます。街には女神を祀る教会を中心に様々な店が軒を連ね活気づいています。

《お宝の精算とアイテム購入》

PC達は前回までの冒険で少しの宝石と装飾品をお宝として手に入れてあります。このお宝を精算する事もこの街へ来た目的の1つです。その価値は一人あたりレベル×10金貨ほどと思われそうですが、交渉次第ではもう少し高く売れるかも知れません。汎用行動マトリクス判定を行い成功したら一人あたり5金貨多く買い取ってもらえます。失敗しても下がる事はありませんが大失敗(出目2)となれば信用を失い一人あたり価値を5金貨分失います。ちなみにこの街で貴金属を買い取ってくれそうな質屋は1件しかありません。この街で購入できるアイテムは50金貨までのものが購入できます。

■2. 情報

宿を確保し、街へ繰り出したPC達の前に人々の注目を集める告知看板を見つめます。街人の声に耳を傾けてみると、街一番の金持ちレイモンド家の庭師がハーピーにさらわれてしまい、警備団もつかつに近づけない場所のためにレイモンド家の使いが搜索と救出のための人足を募集しているのだそうです。もちろんハーピー相手では危険を伴うため、街人達は金払いが良くても怪我をしたら元も子もないと内容に難色を示しています。看板には我と思う者はレイモンド家の館まで訪ねてくるよう書かれています。

《酒場の噂話1》

酒場に冒険のネタを探しにきたPC達は、そこで酔っぱらいの男から興味深い話を聞きます。それはさらわれた庭師の青年トゥルスがレイモンド家のお嬢様のお気に入りらしく、レイモンド家がたかだか庭師一人の搜索に力を入れているのはそのためなのだと言います。

《酒場の噂話2》

よっぱらいの男はまだ何かを知ってそうな素振りを見せず。コミュニケーション行動マトリクスを使用して成功したなら次の情報を男は提示します。また男に1金貨でも手渡せば自動成功となります。庭師とハーピーの接点は不明ながら、ハーピーはハーピーの雫と呼ばれる秘宝を持っていると伝えられており、その秘宝は願いを成就させる物だとも言われているとよっぱらいは語ります。

■3. レイモンド家

PC達がレイモンド家を訪ねるとメイドの案内で応接室へと通されます。しばらくすると執事姿の男が現れ、今回の案件について説明をはじめます。「わざわざご足労ありがとうございます。わたしは当館でサリッサ様の執事をしているセルバンテスと言う者でございます。主に代わり、ご用件をお伝えてさせて頂きます。今回さらわれました庭師のトゥルスについては屋敷で働いて2年になる男なのですが、彼の仕事は大変素晴らしくサリッサ様も大変気に入られておられ、他に代え難い、腕の良い職人なのです。トゥルスが何故ハーピーなどにさらわれてしまったのか当方にはまるで検討もつきませんが、お嬢様も我々館に仕える者達も彼が無事に戻る事を望んでおります。どうでしょうか成功報酬として一人あたり30金貨でトゥルスの救出をお願いできませんか？」と執事はPC達に依頼内容を説明します。

《依頼の承諾》

依頼を承諾するなら、執事は「実はハーピーによる人さらいの被害は昔から度々報告されてきたのですが、森の奥地にある羽の谷と呼ばれる所に住むとされるため、森を越えねばならず近づく事も難しいのです。しかしその森に詳しい者をご紹介しますので、彼の案内で谷までは行けるはずですよ。またハーピーはハーピーの雫なる秘宝を持っているという伝承もございます。冒険者であればそのような神秘的宝をお探しになるのも1つの目的になるかと存じます。」と言うと執事はメイドに合図を送り、大柄な男を応接室に呼び出します。執事は「森に詳しい木こりのガーソンです。彼がPC達を谷まで案内する事ができましょう。」と紹介すると、ガーソンは「まあ、よろしくな。」とどこか不機嫌な笑顔で微笑みました。

■4. 行軍

ガーソンの案内で早速森へと入るPC達。ガーソンは「俺は谷の事は知らないが、森では役に立てると思う。この森には色んなものが住み着いてるが、殆どは害の無い小動物だ。だが熊やでかいカマキリに出くわしたら全力で逃げるんだな。下手に戦えば怪我するだけだ。ガハハッ」と豪快に笑い飛ばします。PC達は2Fから行軍を開始します。なおガーソンは戦闘には参加しません。

◇2E (森)

道もなく足場も悪い森をガーソンは時折何か位置確認し、「うむ、こっちだ。」とPC達を先導します。頭脳行動マトリクス判定を行い、成功したならガーソンの辿ってる道には普通なら見失ってしまうような目印がある事を発見します。ガーソンにこの事を問いただせば「道が無い森の中で唯一頼りになるのは、お天道様の位置と自分が一度でも通った場所を記しておく事だ。」ととっても嬉しい事を説明します。

◇2D (森)

綺麗な沢が流れるこの場所には様々な草花が生えています。ここでは薬草を1d6個採取する事ができます。



◇3 E（森）

湿地を歩いている時、ガーソンが突然足を止めます。そして「やばいな…。どうやらお前さん達の出番だと思っぞ。」と言うとP C達を前に行かせ「よろしく頼むわ。」と隠れてしまいます。進行方向には2メートルを超える大きなトカゲ「リザード+1」が1体、P C達の進行を遮っていました。リザードはすぐにP C達の存在に気付くと突進してきます。リザードを撃退するとガーソンが「いやたまげたな、さすが冒険者様達だ。これなら俺も安心して案内できる。」とP C達の活躍を労います。また4 Eに進めば木こり小屋があり、休憩場所として利用できる事をガーソンは言います。

◇3 D（森）

辺りは岩が多く見られるようになり、森の様相が少しずつ変わってきます。先頭を歩くガーソンは「もうすぐ羽の谷に着く。その前に俺たちがあの谷に近づかない理由を少し話しておこう。昔からネハーレンの街はハーピーによる人さらいを何度か経験してる。もちろん帰ってきた者は居ないため、さらわれた連中がどうなったのかわからん。そういった事からハーピーの巣がある谷に立ち入る事は、ずっと禁忌とされてきたのと、もう1つには立ち入った者は災いを持ち帰るといふ言い伝えがあるからだ。まあ俺のような木こりでは真実はわからんがね。」と言います。また2 Dでは薬草が採れる可能性があると言います。

◇4 E（森）

丈夫な木こり小屋があります。ここはガーソン達木こりが使っている小屋で、ベットや食料、大きな暖炉などがあり、休息をするには十分な場所です。P C達はここで休息をとる事でH P全回復とペナルティ修正を無くす事ができます。

◇4 D（谷）

「ここが羽の谷だ。」とガーソンが足を止めます。そこは何層かに渡る渓谷となっており、草花が生える美しい場所でした。奇妙な事に近くには白い鳥の羽と、黒い鳥の羽、そしてよく手入れされた剪定鋏が落ちており、それが庭師トウルスのものである事は明白でした。ガーソンは「手がかりが見つかったのは良かった。だが俺が案内できるのはここまでだ。ここからはあんた達に先導してもらわねばならん。よろしく頼む。」とP C達の隊列の後ろに下がりました。

◇4 C（谷）

谷の通れそうな道を探してP C達が歩いていると、腕が翼、足がかぎ爪となった少女が倒れているのを発見します。ガーソンが目を丸くして「これが噂に聞くハーピーって奴なのか？」と言います。少女はまだ息がありますが羽に怪我を負っている事が確認できます。

《フェザーハーピーの少女クリスタについて》

P Cが少女を助け介抱し、しばらくすると少女は目を覚まします。最初はP C達を見て酷く怯えていましたが、傷が手当されてるのを確認すると「どうやら助けて頂いたようでありありがとうございます。私の名はクリスタと言います。」と言うと元気が肩を落とします。（P C達が少女を無視して進むならクリスタ抜きでの進行となります。またガーソンはやはり谷の入り口4 Dで待っていると引き返します。）クリスタに庭師トウルスの事を訊ねるなら、「わたしが人さらいなんてとんでもない！ある日素敵な庭に惹かれた私は、彼と出会い私たちは恋に落ちました。以来人目を忍んで出会っていた私達でしたが、ある時彼が私の谷と一緒に暮らそうと言ってくれたのでここまで連れてきたのです。でも…、黒いのに襲われてしまい彼を奪われてしまったんです。」とクリスタはウーンと泣き出してしまいます。

《クロウハーピーのメルクルについて》

クリスタの言う「黒いの…」というのは白い羽を持つクリスタの種族フェザーハーピーとは対のような、黒い羽をもつクロウハーピーという種族である事をクリスタはP C達に説明します。今回庭師をさらったのは普段からクリスタと因縁関係にあるクロウハーピーのメルクルという者の仕業であると彼女は言い、とりえず詳しい話はクリスタの家で聞く事となります。

◇5 C（谷）

渓谷に沿って歩いていくと細い木を積み上げたドーム状の家が見えてきます。妙に落ち着き無くキョロキョロするガーソンを伴ってクリスタの自宅に招かれたP C達に、クリスタはハーピーの生態についてP C達に語り出します。それによれば、彼女達ハーピーに雄は存在せず、人間の男性や他種族を繁殖のパートナーに選ぶのだと語りました。そしてクリスタもまたトウルスを生涯のパートナーとして迎えたものの、同じ生態をもつメルクルに奪われてしまった事を悔やみ、トウルスの身を案じます。クリスタはP C達に「わざわざこんな所まで来て頂いてこんなお願いをするのは心苦しいのですが、どうかトウルスをメルクルから助けて出して頂けないでしょうか？」とP C達に涙ながらに訴えます。メルクルの住処は3 Bにある事をP C達は知り得ます。（4 Cでクリスタを見捨てていた場合には誰が住んでいた形跡のある空き家があり、ここでは特に何も発見できる事ありません。）

◇5 B（谷）

珍しい花々の咲く渓谷を何層か下るルートは見晴らしも良く危険そうなものは何も見あたりません。庭師をメルクルから助け出すため再出発したP C達一行でしたが、ガーソンは自分が足手まといになる事と、怪我を負って飛べないクリスタも居る理由から、帰りを待つ事を選びました。

◇4 B（谷）

緩やかな渓谷の足場はこれまでの土場からゴツゴツした石の転がる岩場へと変わり見通しも悪くなってきます。辺りには小動物の骨らしきものを転がっており、この辺りには何か捕食性の動物が居るのかも知れません。汎用行动マトリクスを行い、成功したなら岩陰から何か毛むくじらの大きな動物「巨大ネズミ+1」が1体、P C達を狙っている事を発見できます。P C側が誰も発見できなければ巨大ネズミが先行して攻撃を行います。

◇3 B（谷）

P C達の前に大きな岩穴が見えてきます。そこには手足を縛られたトウルスと思われる庭師風の青年が捕らえられており、その傍らで黒い羽のハーピー、メルクルが青年を足蹴にして遊んでいました。P C達が近づくと武器を抜くならすぐにメルクルは気づき「あーら、人間のお仲間のようなね。一人だけじゃつまらないと思ってから丁度良かったわ。」とP C達の前に羽ばたいてきて戦闘となります。（クロウハーピーのデータが無い場合はヘビ女のデータを使用します。）メルクルはH Pが半分を割ると「この私が圧されるなんて…覚えておきなさいよ！」と捨て台詞を残して逃げ去ってしまいます。一方トウルスは「こんな所で冒険者に助けられるなんて思ってみせませんでした。みなさんありがとう。」とお礼を言います。またメルクルの巣からは30金貨相当のお宝とヒーリング・ポーション1つを見つかる事ができます。

■ 5. 帰還

《クリスタの家》

無事庭師の青年トゥルス救出したPC達がクリスタの家に戻ってみると、そこにはクリスタもガーソンも居ません。部屋は荒らされたような形跡があり、ここでクリスタとガーソンに何かあった事が伺えます。この家はメルクルが逃げ去った方向でもありませんし、こんな所に第三者が来る事も考えにくいと思われます。ともなればガーソンがクリスタを連れ去ったと考えるのが自然かも知れません。トゥルスは「そんな…クリスタ。一体どこに？」と嘆きます。(4Cでクリスタを見捨てていた場合には特に何も発生しません。)

《自力での森踏破》

森から戻ろうとするなら頭脳行動マトリクス判定を行います。2Eで頭脳行動マトリクスに成功している場合、+2のボーナスが得られます。成功したなら森の中にある目的地へ行く事ができますが、失敗した場合は道に迷い、様々な森の傷害によって全員1d6点のダメージを受けてしまいます。(4Cでクリスタを見捨てていた場合には、途中で倒れていたクリスタの姿が見あたらなかった事に気付きます。)

《レイモンド家に待ち受ける者》

街の人々にガーソンの行き先を尋ねると、ガーソンは大きな麻袋を担いでレイモンド家へ入った事を教えてくれます。PC達がレイモンド家へ押し掛けると、ガーソンと執事セルバンテスが立ちはだかります。セルバンテスは「トゥルス連れ戻して頂いたようですね。お約束の報酬ならお渡ししますので、何も詮索せずこのままお帰り頂けないでしょうか？」と言うと、ガーソンは「そんな気はねえって顔だな。あの森から自力で帰ったのは誉めてやるし、騙すような真似をしたのは詫びるが、これも俺の仕事なんでここから先は通す訳にはいかねえな。」と彼らは武器に手を掛け威嚇します。セルバンテスは2レベルのシーフ(もしくは吟遊詩人)、ガーソンは2レベルのファイター(もしくはレンジャー)として戦闘を行います。

■ 6. 結末

館の奥の部屋へ乗り込むと、意外にも元気そうなクリスタとまだ幼さの残る可愛い少女が仲良くお茶をしてました。クリスタは「あら、みなさん。一体これはどういう趣向でしょう？」と出迎え、そこにトゥルスが居るのを確認すると互いに喜んで駆け寄り抱き合います。少女は事態を全く把握できていない様子でPC達の登場にびっくりしています。そこへ執事セルバンテスがメイドの介助を受けてやって来てきますが、少女は何かを悟ったのか執事を呼びつけ耳元で何か囁きます。すると執事は膝から崩れおち「サリッサ様、申し訳ありませんでした。」と謝りました。

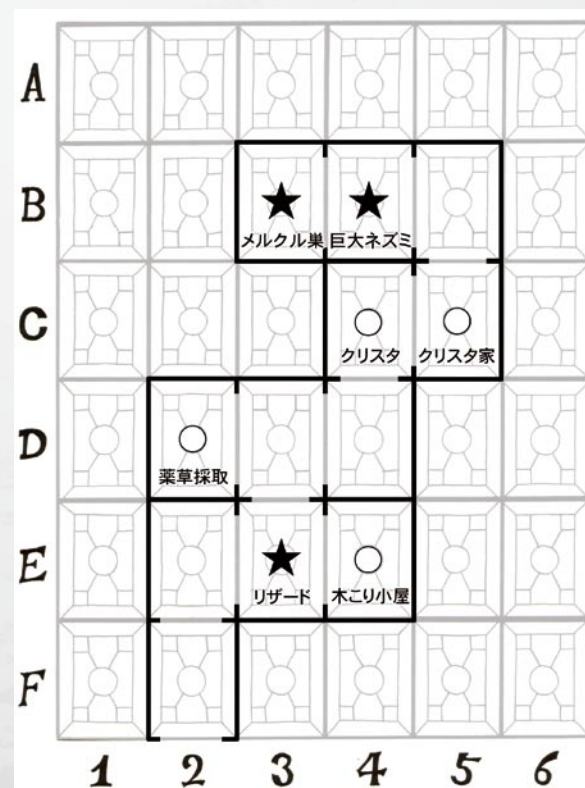


《真相》

そして執事セルバンテスの口から真実が語られます。それによれば、トゥルスの庭に遊びに来ていたクリスタでしたがその様子をサリッサ嬢は以前から気付いており、白く美しい翼のクリスタと友達になる事をサリッサ嬢は望んでいたのだと言います。トゥルス連れ去った日もサリッサ嬢はその光景を眺めているだけでしたが、クリスタが飛び去る時に落としていった煌めく小瓶「ハーピーの雫」を見つけた事で、サリッサ嬢はきつと白い翼の娘の大事な宝物に違いないと考え、直接返却する事で友達になるきっかけを作りたいと願い、執事セルバンテスは主の願いを叶えるべく行動を開始しました。しかしセルバンテスはサリッサの意中の相手がトゥルスであると勘違いしていたようで、PC達にトゥルスの保護を依頼する一方で、ガーソンに害獣ハーピーの捕獲を命じていました。執事が一通りを語るとサリッサ嬢はトゥルスとクリスタ、そしてPC達に「ごめんなさい。」と謝りました。こうして勘違いから生まれたハーピーのお話は笑い話として街に語り継がれる事となりました。その後PC達は依頼金とお詫びの50金貨を受け取る事となり、次なる冒険へ旅立つ事となりました。

◆ハーピーの雫について

ハーピーの雫は一種の惚れ薬です。異種族に繁殖パートナーを見つける必要のあるハーピーの最終的手段として用いられる秘薬です。しかしクリスタは相思相愛の相手を見つけて不要となり、トゥルス連れ去る時点で廃棄したのでした。この惚れ薬はハーピーを魅力的に魅せる効果はありますが、他種族が魅力的に見える効果はありません。しかし研究好きの錬金術師達や、物好きな金持ちなどには20金貨ほどで売却できます。



作成者 : waiz
<http://waiz.sblo.jp/>

■付録 NPC紹介

《執事セルバンテス》（40歳代）

レイモンド家に仕える礼儀正しくも早とちり癖のある執事。

《木こりのガーソン》（20歳代）

セルバンテスにクリスタを捕らえるよう雇われた森の案内人。

《フェザーハーピーのクリスタ》（人間換算で10歳代後半）

トウルスの庭に魅せられて恋に落ちたちょっと気弱なハーピー。

《庭師トウルス》（20歳代）

クリスタと恋仲になったレイモンド家の脳天気な庭師。

《クロウハーピーのメルクル》（人間換算で10歳代半ば）

同じ谷に住むクリスタをいじめている意地悪なハーピー。

《サリッサ嬢》（10歳代前半）

クリスタと友達になりたいレイモンド家の内気なお嬢様。